

## 自覚をもって毎日を過ごそう

—受験生は、一日も早く受験生としての自覚をもとう—

開倫塾

塾長 林 明夫

### 1. はじめに

- (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2)3月11日の東日本大震災から1か月と1週が経ちましたが、皆様どのようにお過ごしでしょうか。余震がだいぶ続き、不安定な生活をなさっている方も多いと思います。
- (3)放送をお聴きの皆様には何回かお願いをさせていただいていますが、栃木県内の観光地はお客様が少なくとても困っています。可能であれば、ゴールデン・ウィークが終わる頃までに県内の観光地に1泊ないしは2泊で出掛けていただければと思います。そうすれば、観光地は復活します。
- (4)観光地の方々は、お客様をお迎えしようと一所懸命に準備をしていらっしゃいます。ですから、栃木県内の皆様にはゴールデン・ウィークが終わる頃までに観光地での1泊もしくは2泊の宿泊をお願い致します。私も1箇所か2箇所利用させていただこうと、今から計画を立てております。
- (5)これから素晴らしい季節が訪れますので、栃木県の観光地でリフレッシュしていただければ、こんなに有難いことはありません。栃木県の観光地は栃木県のみんなで守るんだという気持ちで、観光客が少なくなっている今こそ、みんなで県内の観光地に出掛けて自分自身をリフレッシュさせる、このようにされることをぜひお願いしたいと思います。
- (6)また、今春は歓送迎会がほとんど行われないうことで、旅館やホテルの売り上げが激減しています。ですから、今年も例年と同じように送別会や歓迎会を開いていただきたいと思います。特に、役所にお勤めの方々はお給料が減っているわけではありませんので、ぜひ歓送迎会を粛々と行って交流を深めていただければと思います。民間企業などにお勤めの方々の中には大変な方もいらっしゃるでしょうが、歓送迎会や年間行事を粛々とこなしていただければ有難いなと思います。気分が乗らないなどおっしゃらずに、このようなきこそ元気が出るようにいつものように歓送迎会を催し、そこで義援金などを集めて被災地の方々への見舞金とさせていただく、これも素晴らしい企画ではないかと思っておりますので、どうかよろしくお願い致します。
- (7)栃木県内のサービス業を助けるのは、県民の皆様です。気持ちが乗らないからといって全部を中止するのは、サービス業にとっては大変な打撃となりますので、幹事の方・会員の方は歓送迎

会などを中止するのを止め、例年通りに行っていただきたいと思います。これは、心からのお願いです。

## 2. 自覚をもって毎日を過ごそう

- (1)ところで、この番組は、どのようにしたら勉強の仕方が上手になるかということをお話している番組です。そこで今日は、4月中旬から5月初旬つまりゴールデン・ウィークが終わる頃までの約1か月間の勉強の仕方についてお話をさせていただきます。
- (2)もしかしたら、今年は学校が早く終わる日が多くなるかもしれません。また、放課後や土曜日、日曜日の部活動・学校行事などが少なくなることも予想されます。だからといって、テレビやテレビ・ゲーム、携帯電話、マンガなどに夢中になるのは避けるべきだと思います。
- (3)私は、このようなときにこそ、東日本大震災で被害に遭われた方々やその支援に行かれている方々、大震災の影響で仕事を失ったり生活が苦しくなったりしている方々のことを思って、自分の立場は何なのか、今、自分がやるべきことは何かを真剣に考えてもらいたい、自覚をもって毎日を過ごしていただきたいと思っています。
- (4)学生、つまり小学生・中学生・高校生・大学生などの仕事は勉強ですから、このようなときこそ自覚をもって勉強に専念し、自分の未来を自分で切り開くために一所懸命に励むのがよいと思います。
- (5)特に、中学3年生や高校3年生などの受験生は、受験生としての自覚をもって毎日を過ごして下さい。ゴールデン・ウィークが終わると模擬試験があります。栃木県には、中学3年生を対象とした下野模試という非常に有名な模擬試験があり、その第1回が5月6日に行われます。第1回目の下野模試から、自分の行きたい高校に合格できるだけの偏差値を取れるように勉強するのがよいと思います。群馬県、茨城県は統一テストがありますね。

今回の模擬試験の範囲は、どの教科も1年生・2年生の学習内容からが多いですので、1～2年の復習を徹底的にやりましょう。もう受験生なので、帰宅後から夕食まで机に向かい、夕食や入浴を済ませたら就寝時間まで勉強する。土曜日や日曜日、ゴールデン・ウィークの休みの日は、朝から晩まで机に向かってひたすら勉強する。受験生としての自覚をもって、「勉強、勉強、また勉強」の毎を送る。睡眠時間以外は勉強する。このぐらいの気概をもって勉強すれば、下野模試までは1か月弱ありますから、自分の希望する高校に合格できるだけの偏差値が必ず取れます。
- (6)よい成績を1回取ってしまえば、あとはそれを継続すればよいだけです。大変なのは、自分の行きたい高校や大学に合格できるだけの偏差値を1回取るまでです。なかなか取れないからです。
- (7)ただ、受験勉強には、頭が良い・悪いは全く関係ありません。今までの成績も全く関係ありません。よく勉強していないところは、素直な心になってわからないところまで遡(さかのぼ)って基礎から勉強する。よくできるところは、難しい内容や問題にどんどん挑戦したり、先の学年の

内容まで進みに進んで勉強したりする。受験勉強のコツはこれだけです。勉強に遠慮は一切不要です。大好きな科目や分野、よくできる科目や分野に関しては、小学生であっても中学校や高校の内容を勉強してよいし、中学生が高校生、高校生が大学生の勉強をしてもよいのです。つまり、学年に関係なくどんどん、どんどん勉強することをお勧めします。

### 3. おわりに

- (1) 繰り返しになりますが、このような時期ですから、被災者の方々や被災地で支援をなさっている方々のことを思って、自分のやるべきことをよく考え、学生の方々は勉強に専念していただければと思います。よろしくお祈りします。自分のしなければならぬことをよく考え、自覚をもって毎日を過ごして下さいね。
- (2) 加えて、県民の皆様には、ゴールデン・ウィーク明け頃までに1泊あるいは2泊で県内の観光地に出掛けていただくことを切にお願い致します。茨城県・群馬県・栃木県の観光地は、各県民みんなで支え合うことが大事であると思います。福島県はじめ東北の観光地にも、行ける方はどんどん行って下さい。よろしくお祈り致します。